

2024年度 第一種奨学金 第二種奨学金 貸与奨学金

確認書兼個人情報取扱いに関する同意書 〔大学院予約〕

日本学生支援機構が実施する第一種奨学金及び第二種奨学金は、借入金(貸与奨学金)です。また、確認書の裏面に記載の事項は、「貸与奨学金案内」に記載している内容です。冊子をよく読み、理解したうえで記入してください。

特に 貸与奨学金を申し込む前に 知ってほしい大切なこと

・ここでは、「確認書」に記載されている内容のうち、特に大切な事項をまとめました。

特に大切なこと ※は確認書の記載箇所	借りるとき	返すとき
1. 奨学金を借りるには、「 機関保証 」(保証機関への保証料の支払いが必要)か、「 人的保証 」(父母及び親族などが保証)の どちらかを選ぶ 必要があります。※確認書裏面1.【保証】(4)	●	
2. 「 機関保証 」を選んだ人の振込額は、 貸与月額から保証料が差し引かれた金額 となります。※確認書裏面1.【保証】(4)	●	
3. 奨学金を借りるには、個人情報取扱いに同意する必要があります。個人情報機関には、 延滞した場合のみ個人情報が登録 されます。※確認書表面に記載	●	●
4. 奨学金を借りるには、「 返還誓約書 」などの 提出が必要 です。なお、「返還誓約書」を提出しないと奨学生としての資格を失い、振込済奨学金の全額を返金しなければなりません。※確認書裏面1.【返還誓約書(兼個人情報取扱いに関する同意書)】(5)	●	
5. 過去に奨学金を借りたことがある人は、借りることができない場合があります。また、外国籍の人は、 在留資格によって借りることができない場合があります 。※確認書裏面1.【貸与期間の取扱い】(8)【申込資格】(10)	●	
6. 奨学金は、 学生本人の口座に振り込まれます。本人以外の口座には、振込みできません 。※確認書裏面1.【振込み】(11)(12)	●	
7. 無利子の第一種奨学金は、返還方式として「 定額返還方式 」か「 所得連動返還方式 」の どちらかを選ぶ 必要があります。※確認書裏面1.【返還方式】(1)～(3)	●	
8. 利子付きの第二種奨学金は、利率の算定方法として「 利率固定方式 」か「 利率見直し方式 」の どちらかを選ぶ 必要があります。※確認書裏面1.【利率の算定方法】(14)～(16)	●	
9. 学業成績が不振などの場合は 、奨学生の資格を失い、 奨学金の貸与が打ち切られる場合があります 。※確認書裏面1.【貸与中の手続等】(20)	●	
10. 奨学金の返還は、貸与が終了する月の翌月から数えて7か月目から始まります。例えば、3月に卒業する人は、10月から返還が始まります。なお、奨学金を返すための 口座振替(リレ一口座)に加入する必要 があります。返還を延滞すると、 延滞金が課されます 。※確認書裏面2.【返還の方法】(1)		●
11. 返還が難しい時は、願出により 月々の返還額を1/2又は1/3に減額し、適用期間に応じた分の返還期間を延ばす制度 や 返還を先送りする制度 を利用できる場合があります。また、学校に在学している間は、願出により卒業まで返還を最長10年間先送りできます。※確認書裏面2.【その他手続等】(15)(16)		●
12. 「人的保証」を選んだ人が返還を延滞したときは、 連帯保証人(父又は母)、保証人(おじ・おばなど)にも請求 する場合があります。※確認書裏面2.【返還の方法】(11)		●

●「確認書兼個人情報取扱いに関する同意書」記入例

記載等の不備がある場合は、申込みできません。

- ①「確認書兼個人情報取扱いに関する同意書」は、切り離すかコピーをとって使用してください。
※コピーして使用する場合は、必ず裏面の約款も両面コピーしたものを使用してください。
- ②記入を誤った場合は、誤った箇所を二重線で訂正し、余白に正しく書き直してください。
※修正液や修正テープ等は使用しないでください。
- ③本人の署名は、必ず自署してください。
※署名は判読できるように正しく楷書で記入してください。

住民票の住所が現住所（今お住まいの住所）と異なる場合でも現住所を記入してください。

奨学金申込日（西暦）を記入してください。（本書類を記入した日）

(西暦) **2023** 年 月 日

入学予定	学校名 育英国際大学大学院	課程 修士	研究科 経済学	学籍(学生証)番号 ←ここから記入
本人	フリガナ ショウガク タロウ	〒 116-2108	電話番号(自宅) 03-1234-5678	電話番号(携帯) 090-1111-2222 ←
	氏名 奨学太郎	現住所 東京都新宿区市谷本村町10-7 学生荘101号	生年月日 昭和 平成 13 年 7 月 7 日	性別(任意) <input checked="" type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女
国籍又は在留資格 【該当を○で囲む】				
a <input checked="" type="radio"/> 日本国籍 b 法定特別永住者 c 永住者 d 定住者(永住の意思がある者に限る) e 日本人の配偶者等 f 永住者の配偶者等 ※d～fの該当者は在留期限(在留期間の満了日)を記入(年 月)				

【個人情報同意事項】 機構は、個人情報取扱いに関する登録及び利用は、延滞した場合のみ行います。
(個人情報取扱いの登録)

1. 私は、奨学金の返済が延滞した後は、下記の個人情報(その履歴を含む)が機構が加盟する個人情報取扱い機関に登録され、同機関及び同機関と提携する個人情報取扱い機関の加盟会員によって自己の与信取引上の判断(返済能力又は転居先の調査をいう。ただし、返済能力に関する情報については返済能力の調査の目的に限る)のために利用されることに同意します。また、私は、延滞した後は、機構が加盟する個人情報取扱い機関及び同機関と提携する個人情報取扱い機関に私の個人情報(当該各機関の加盟会員によって登録される契約内容、返済状況等の情報のほか、当該各機関によって登録される破産等の官報情報等を含む)が登録されている場合には、機構がそれを債権管理(転居先の調査を含む)のために利用することに同意します。

個人情報	登録期間
氏名、生年月日、性別、住所(郵便不着の有無を含む)、電話番号、勤務先等の本人情報	下記の情報のいずれかが登録されている期間
貸与金額、貸与日、最終返済日等の本契約の内容及びその返済状況(延滞、代位弁済、強制回収手続き、完済等の事実を含む)の情報	延滞発生から本契約期間中及び本契約終了日(完済していない場合は完済日)から5年を超えない期間
機構が加盟する個人情報取扱い機関を利用した日及び本契約又はその申込の内容等	当該利用日から1年を超えない期間
官報の情報	破産手続開始決定を受けた日から7年を超えない期間
登録情報に関する苦情を受け調査中である旨の情報	当該調査中の期間
本人確認資料の紛失・盗難等の本人申告の情報	本人から申告のあった日から5年を超えない期間

2. 私は、前項の個人情報が、その正確性・最新性維持、苦情処理、個人情報取扱い機関による加盟会員に対する規則遵守状況のモニタリング等、個人情報の保護と適正な利用の確保のために必要な範囲内において、個人情報取扱い機関及びその加盟会員によって相互に提供又は利用されることに同意します。

3. 前2項に規定する個人情報取扱い機関は次のとおりです。各機関の加盟資格、会員名等は各機関のホームページに掲載されております。なお、個人情報取扱い機関に登録されている情報の開示は、各機関で行います(機構ではできません)。
 ①機構が加盟する個人情報取扱い機関：全国銀行個人情報センター <https://www.zenginkyo.or.jp/pcic/>
 ②同機関と提携する個人情報取扱い機関
 ・ 財団法人日本信用情報機構 <https://www.jicc.co.jp> ・ 財団法人アイシー <https://www.cic.co.jp>
 (代位弁済後の情報提供について)

4. 私は、機構に対し、私が保証委託契約を締結した委託先から機構が代位弁済後の完済等の情報を取得し、これを個人情報取扱い機関に提供することを依頼し、その情報が個人情報取扱い機関に登録されることに同意します。

左記の個人情報取扱い機関では、本書面の書き方を含め奨学金に関するご質問にはお答えできません。

該当する国籍又は在留資格を○で囲んでください。
 ※ d～f の在留資格に該当する場合は、在留期限(在留期間の満了日)も記入してください。
 ※ 外国籍の人で b～f 以外の在留資格(「家族滞在」等)の人は貸与の対象とはなりません。

電話番号は、自宅・携帯とも記入してください。
 所有していない場合は、自宅・携帯それぞれの欄に「電話なし」と記入してください。



採用後、奨学生本人と日本学生支援機構との金銭消費貸借契約を明確にする契約書である「返還誓約書」と添付書類を定められた期限までに提出する必要があります。
 添付書類は選択する保証制度により異なります。
 保証制度の詳細については「奨学金案内」15ページ以降を、添付書類の詳細については「奨学金案内」30ページ以降を参照してください。

コピーして使用する場合は、必ず裏面の約款も両面コピーしたものを使用してください。

〔貸与奨学金〕確認書兼個人情報取扱いに関する同意書

提出用

（大学院予約）

（西暦） 年 月 日

独立行政法人

日本学生支援機構理事長 殿

私は、独立行政法人日本学生支援機構（以下「機構」という）の奨学金の貸与を受けるにあたり、インターネットによる奨学金の申込みの入力内容又は奨学金案内の記載内容及び以下に記載の貸与申込みの条件、個人情報取扱いに関する各同意条項、機構の諸規程並びに裏面記載事項について、確認し、同意のうえ、返還することを確約し、本確認書兼個人情報取扱いに関する同意書を提出します。また、機構に提出した個人番号については、裏面記載の範囲で機構が利用することに同意します。機関保証を受ける場合には、保証機関（公益財団法人日本国際教育支援協会）に支払うべき保証料は、機構が奨学金の交付の際にあらかじめ貸与金額から差し引いて支払うこととしてください。

*必ず本人が記入してください。

入学予定	学校名		課程	研究科	学籍(学生証)番号	
本人	フリガナ	〒		電話番号(自宅)		-
	漢字	現住所		(携帯)		-
		生年月日	昭和・平成	年	月	日
				性別(任意)	男・女	
国籍又は在留資格 【該当を○で囲む】		a 日本国籍 b 法定特別永住者 c 永住者 d 定住者(永住の意思がある者に限る) e 日本人の配偶者等 f 永住者の配偶者等 ※d～fの該当者は在留期限(在留期間の満了日)を記入(年 月)				

【個人情報同意条項】 機構は、個人情報機関への登録及び利用は、延滞した場合のみ行います。

(個人情報利用・登録等)

1. 私は、奨学金の返済が延滞した後は、下記の個人情報(その履歴を含む)が機構が加盟する個人情報機関に登録され、同機関及び同機関と提携する個人情報機関の加盟会員によって自己の与信取引上の判断(返済能力又は転居先の調査をいう。ただし、返済能力に関する情報については返済能力の調査の目的に限る)のために利用されることに同意します。また、私は、延滞した後は、機構が加盟する個人情報機関及び同機関と提携する個人情報機関に私の個人情報(当該各機関の加盟会員によって登録される契約内容、返済状況等の情報のほか、当該各機関によって登録される破産等の官報情報等を含む)が登録されている場合には、機構がそれを債権管理(転居先の調査を含む)のために利用することに同意します。

個人情報	登録期間
氏名、生年月日、性別、住所(郵便不着の有無等を含む)、電話番号、勤務先等の本人情報	下記の情報のいずれかが登録されている期間
貸与金額、貸与日、最終返済日等の本契約の内容及びその返済状況(延滞、代位弁済、強制回収手続き、完済等の事実を含む)の情報	延滞発生から本契約期間中及び本契約終了日(完済していない場合は完済日)から5年を超えない期間
機構が加盟する個人情報機関を利用した日及び本契約又はその申込の内容等	当該利用日から1年を超えない期間
官報の情報	破産手続開始決定を受けた日から7年を超えない期間
登録情報に関する苦情を受け調査中である旨の情報	当該調査中の期間
本人確認資料の紛失・盗難等の本人申告の情報	本人から申告のあった日から5年を超えない期間

2. 私は、前項の個人情報が、その正確性・最新性維持、苦情処理、個人情報機関による加盟会員に対する規則遵守状況のモニタリング等、個人情報の保護と適正な利用の確保のために必要な範囲内において、個人情報機関及びその加盟会員によって相互に提供又は利用されることに同意します。

3. 前2項に規定する個人情報機関は次のとおりです。各機関の加盟資格、会員名等は各機関のホームページに掲載されております。なお、個人情報機関に登録されている情報の開示は、各機関で行います(機構ではできません)。

①機構が加盟する個人情報機関: 全国銀行個人情報センター <https://www.zenginkyo.or.jp/pcic/>

②同機関と提携する個人情報機関
・ 日本信用情報機構 <https://www.jicc.co.jp> ・ ㈱シー・アイ・シー <https://www.cic.co.jp>
(代位弁済後の情報提供について)

4. 私は、機構に対し、私が保証委託契約を締結した委託先から機構が代位弁済後の完済等の情報を取得し、これを個人情報機関に提供することを依頼し、その情報が個人情報機関に登録されることに同意します。

左記の個人情報機関では、本書面の書き方を含め奨学金に関するご質問にはお答えできません。

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、奨学金貸与業務(返還業務を含む)のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報(奨学金の返還状況に関する情報を含む)が、学校、金融機関、文部科学省及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。機関保証加入者については、機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が保証機関に提供されます。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。

確認書兼個人情報取扱いに関する同意書は本人控としてコピーを取り返還誓約書を提出するまで大切に保管してください。

入学予定校学校番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【用紙③】 確認書兼個人情報取扱いに関する同意書（大学院予約）

1. 奨学金の貸与に係る事項

【返還方式】

- (1) 第一種奨学金においては、貸与金額に応じた返還回数で算出された割賦金で返還する方式（以下、「定額返還方式」という）が、独立行政法人日本学生支援機構（以下、「機構」という）が収入に連動して算出した割賦金で返還する方式（以下、「所得連動返還方式」という）を選択する必要がある。...

【保証】

- (4) 奨学金の貸与を受けるためには、一定の保証料を支払うこととで保証機関による保証を受ける必要がある。...

【返還誓約書（兼個人情報取扱いに関する同意書）】

- (5) 機関保証を選択した奨学金は在学を卒業後、機構が定める期限までに機関保証料を支払ったことを表示した返還誓約書及び保証依頼書（兼保証委託契約書）・保証料を支払ったことを表示しなければなりません。...

【貸与期間の取扱い】

- (8) 過去に在学していた奨学金の貸与期間を、下記の学校区分（それぞれ要件現れた学校の専攻科、大学における別科、専修学校専攻科、専門学校）において、在学していた専攻科、大学課程に属する、専攻科、専修学校、専門学校に在学していた期間と通算して算出する。...

【申込資格】

- (10) 奨学金の貸与を受けることができる学生等は、日本国籍を持つ者か、外国籍の者のうち次のいずれかに該当する者とする。...

【振込み】

- (11) 奨学金は、普通銀行（外国銀行を除く）、ゆうちょ銀行、信用金庫、労働金庫又は信用組合のいずれかに開設された本人名義の預貯金口座に振り込まれます。...

【月額の変更】

(13) 貸与月額は、機構が定める手続により変更することができます。

【利率の算定方法】

- (14) 第一種奨学金に併せて入学時特別増額貸与奨学金を受けた者の利率、第二種奨学金における基本月額に係る利率の算定方法の選択に関しては、「利率固定方式」又は「利率見直し方式」のうちインターネットにより入力した方法、又は「奨学金申込書」に記載した方法に従って以下のとおり定められます。...

【貸与中の手続等】

- (17) 奨学金は在学を卒業後、毎年度「奨学金継続願」を提出し、継続貸与の資格認定を受けなければなりません。...

2. 奨学金の返還に係る事項

【返還の方法】

- (1) 奨学金の返還は、貸与が終了した月の翌月から起算して6ヶ月を経過した後開始されます。選択した返還方式に応じて算出された割賦金、ゆうちょ銀行、都市銀行、地方銀行、第二種奨学金、信託銀行、信用金庫、労働金庫、信用組合、農業協同組合、信用漁業協同組合連合会、漁業協同組合又はインターネット専門銀行のいずれかの預貯金口座から自動的に引き落とす方法（リレー口座）で返還することになります。...

【その他手続等】

- (13) 奨学金の貸与終了後、連帯保証人、保証人又は本人以外の連絡先を変更するときは、速やかに機構に届けなければならない。...

【個人番号の利用】

- (21) 個人番号とは、「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」第2条第5項にいう「個人番号」をさすものとし、機構からの請求に応じて個人番号を提出した場合は、同法及び関連法令で定められた範囲で機構が個人番号を利用すること及び地方自治体を利用することに同意したものとします。

3. 採用されなかった場合等の確認書兼同意書の取扱いに係る事項

申込後採用されなかった場合、採用取消になった場合、貸与を受ける前に辞退した場合、この確認書兼同意書は無効となります。なお、その場合の確認書兼同意書等は返却いたしません。学校又は機構が責任をもって廃棄いたします。

その他上記以外の取扱いについては、関係法令及び機構の「貸与奨学規程」その他の諸規程の定めによります。

2024年度 入学者用 スカラネット入力下書き用紙

（大学院予約）

独立行政法人 日本学生支援機構

【用紙①】

本用紙は12ページです。冊子「奨学金案内」より取り出してご利用ください。

【用紙②】収入計算書は、**6**ページと**7**ページの間に挟み込んでいます。

インターネット（スカラネット）による奨学金申込みにあたっては、冊子「貸与奨学金案内（大学院予約）」（以下、「奨学金案内」という。）を熟読し、申込内容を記入してください。

「奨学金案内」及び以下の注意事項を確認してこの下書き用紙に記入し、誤りがないことを点検した上で機構のスカラネット用ホームページにアクセスして入力してください。入力が完了すると、「奨学金申込情報一覧」が表示されますので、内容を再確認し、画面を印刷又はスクリーンショットをして、保管してから「送信」ボタンを押してください。なお、「送信」ボタンを押した後に内容を訂正することはできません。

氏名	学籍番号	研究科の専攻のコード

進学予定の大学院からの指示がある場合のみ記入してください。

受付番号											

入力が完了し「送信」ボタンを押した後に、受付番号が画面に表示されます。**必ず記入しておいてください。**太枠部分は「1」になります。

【スカラネット入力の際に、手元に用意する書類】

以下の2点は、必ず手元に用意してください。

- ・学校から受け取った識別番号（ユーザIDとパスワード）
- ・奨学金振込口座（本人名義）の通帳などのコピー（本冊子**12**ページに貼り付けてください。）

スカラネットURL <https://www.sas.jasso.go.jp/>

受付時間 8：00～25：00（最終締切日の受付時間は8：00～24：00）

※受付時間を過ぎると画面が強制終了します。余裕をもって入力できるよう、入力開始時間には注意してください。（入力時間の目安：30分～1時間）



【注意事項】

(1) スカラネットの動作確認済み環境

スカラネットの動作環境は、以下を前提としています。

【パソコン】

OS：Windows 10、11

ブラウザ：Microsoft Edge

【モバイル端末】

OS：iOS 13 以上、iPadOS 13 以上、Android 8.0 以上

ブラウザ：Mobile Safari、Android 用モバイル版 Google Chrome

（注1）フィーチャーフォンには対応していません。

（注2）アップル社が販売している macOS を搭載するコンピュータについては未確認です。

(2) スカラネット入力に関する注意事項

- (1) スカラネットの画面の注記に従って全角入力・半角入力を行ってください。また、申込画面は7つの画面で構成され、1画面あたり30分の制限時間があります。
- (2) 識別番号（ユーザID・パスワード）は、すべての必要な書類を進学予定の大学院へ提出後、大学院から受け取ることができます。
- (3) その他、申込みに関して不明な点がある場合は、大学院に確認してください。

(3) 文字入力について

① 使用不可な文字

氏名は原則、住民票の記載どおりに入力してください。ただし、次の(ア)～(ウ)の留意点があります。

(ア) 旧字体・異体字等は、機構のシステム上登録できない文字があります。この場合、常用字体・通用字体で表示されます（吉→吉、祐→祐、廣→廣 等）。

また、旧字体・異体字等の一部、対応できない文字があります。エラーとなり先に進めませんので、常用字体・通用字体で入力してください。対応する常用字体・通用字体がない場合は、ひらがなで入力してください。

(イ) 読み方を表す「カナ氏名」には、カタカナの「ヲ」は使用できません。「オ」と入力してください。

(ウ) 外国籍の人の氏名は、口座開設時に用いた住民票や在留資格証明書等の公的証明書類の記載をもとに、カタカナで入力してください。

・入力方法は下記②の（例）を参照してください。

・アルファベットの場合は使用できないため、カタカナに読み替えてください。

・（申込者本人のみ）銀行の振込口座が「名→姓」の順で登録されている場合には、例外的に振込口座に合わせて入力してください。

② 文字数の制限（本人氏名欄、生計維持者欄）

「漢字氏名」欄は姓・名それぞれ全角5文字まで、「カナ氏名」欄は姓・名それぞれ全角15文字まで入力できます。

制限文字数を超える場合は、入力可能な文字数まで入力してください（名前が途切れていてもかまいません）。漢字氏名欄は途中で入力を止め、カナ氏名欄でフルネームを入力してください。

※全角漢字氏名欄に6文字以上入力すると、エラーになり先に進めません。

カナ氏名欄は15文字まで入力できますので、フルネームを入力してください。

（例）奨学 トーマス 太郎

・漢字氏名欄 【姓】奨学 【名】トーマス太（「郎」は切る）

・カナ氏名欄 【姓】ショウガク 【名】トーマスタロウ

カナ氏名は必ず口座名義と同一にしてください。

よくあるトラブル

〈次の画面に進めない時は…〉

①入力に誤り又はもれがある場合、**次へ** ボタンを押しても次の画面に進めません。

②その際、エラー発生を示すメッセージと共にその訂正内容等が表示されます。

③指示に従い該当する項目を正しく入力し直してください。

〈入力の途中で誤りに気付いた時は…〉

①次の画面に進んだ場合、途中で誓約画面よりも前の画面には戻れません。

誓約画面から奨学金振込口座画面の間は**戻る** ボタンで前の画面に戻ることができます。

②又は「奨学金申込情報一覧」まで進み、訂正を要する画面に戻り、誤りを直してください。

③②の「奨学金申込情報一覧」で訂正が終わったら画面下の**確定** ボタンを押して「奨学金申込情報一覧」の画面に戻ってください。

〈入力の途中で強制的に終了がかかった時は…〉

この場合、

・入力許容時間（7分割中1画面あたり30分）をオーバーしてしまった

・機構がデータ更新処理を開始してしまった

・スカラネットの動作環境が異なる

のいずれかが考えられます。

画面内のメッセージに従って申込作業を終了してください。

【スカラネット入力内容記入欄】

ログイン

あなたの識別番号（ユーザIDとパスワード）を入力して、下の「ログイン」ボタンを押してください。
 (注)パスワード入力の際は全角・半角、大文字・小文字の区別をします。

ユーザID パスワード

スカラネット入力時、パスワードは非表示になります。入力がエラーになる場合は、入力した文字を目で見て確認できるよう、最初にユーザID欄に入力し、それをコピーして貼り付けてみてください。

確認書兼同意書の提出

あなた（あなたが未成年（18歳未満）の場合は、あなたと親権者または後見人）は、「確認書兼同意書」に記載されている次の内容を確認・承認したうえで、署名した「確認書兼同意書」を提出しましたか。

- 貸与申込条件等
- 個人情報情報の取扱いに関する同意条項
- ※「個人情報情報の取扱いに関する同意条項」には、延滞するとあなたの個人情報個人信用情報機関に登録される等、重要な内容が記載されています。

- 提出しました。
 提出していません。

下の「規定等を表示」ボタンを押して規定等（保証委託約款を含む）を確認し、了承する場合のみ、申込みを行ってください。

※規定等を確認するまで、次の画面に進むことはできません。

次の画面に進みます。下の「次へ」ボタンを押してください。

規定等を表示

了承します

次へ

「提出していません。」を選択した場合はスカラネットの次の画面へ進むことができません。学校に「確認書兼同意書」を提出した後、再入力してください。

規定等の表示を行わないと、次の画面へ進むことができません。

「了承します」にチェックを入れないと、次の画面へ進むことができません。

規定等を表示し、「了承します」にチェックを入れると活性化します。

1/7

A-日本学生支援機構奨学金の案内

- ◆第一種奨学金予約
 - *第一種奨学金
 - 無利子の奨学金で、特に優れた学生及び生徒で経済的理由により著しく修学困難な者に貸与します。
- ◆第二種奨学金予約
 - *第二種奨学金
 - 利子付きの奨学金（在学中は無利子）で、優れた学生及び生徒で経済的理由により修学困難な者に貸与します。
- ◆入学時特別増額貸与奨学金予約
 - *入学時特別増額貸与奨学金
 - 利子付きの奨学金（在学中は無利子）で、第一種奨学金または第二種奨学金の振込時に一括して増額貸与します。（原則初回振込時）

B-誓約欄

日本学生支援機構理事長 殿

私は貴機構奨学金の申込みにあたり、学校に「確認書兼同意書」及び必要な証明書類を提出しました。奨学生に採用決定後は速やかに「返還誓約書」を提出し、貸与が終了した後は滞りなく返還すること及び以下の申込み記載事項については正しく記入することを誓約します。

誓約日 (和暦) 令和 年 月 日 氏名 (全角漢字) 姓(5文字以内) 名(5文字以内)
 半角数字

氏名 (全角カナ) 姓(15文字以内) 名(15文字以内)
 氏名 (全角カナ)

生年月日 (和暦) (半角数字) ▼ 年 月 日生

生年月日の入力を誤ると、正しく成年判定を行うことができませんので注意してください。

<参考>

	和暦	西暦		和暦	西暦
	6	1994		11	1999
	7	1995		12	2000
平成	8	1996	平成	13	2001
	9	1997		14	2002
	10	1998		15	2003

誓約日はスカラネット入力日としてください。

学生本人の本名を、全角漢字及び全角カナで入力してください。名前が長い場合は、入るところまで入力してください。
 [2] ページ [3] 「文字入力について」を確認してください。

(記入例)
 漢字氏名 機構 かをる
 カナ氏名 キコウ カオル

(記入例)
 奨学 ジョン 太郎
 → 奨学 ジョン太郎

⚠ カナ氏名は、振込口座の名義人氏名と同一であることが必要です。通帳の口座名義人氏名を必ず確認しながら入力してください。

国籍 日本国籍 日本国籍以外

国籍が「日本国籍以外」の場合、在留資格を選択してください。
 リストにない在留資格（留学、家族滞在等）の方は申込できません。

在留資格が「定住者」の場合、永住意思を選択してください。 意思あり 意思なし

注意!!
 外国籍の人は「奨学金案内」6ページの表のとおり申込資格に制限があります。必ず在留資格を在留カード等で確認してください。

2/7

C-奨学金申込情報

1. あなたの希望する奨学金を1つ選択してください。

(a). 第一種奨学金又は第二種奨学金のどちらかを希望する人のみ記入してください。

- (1) 第一種奨学金のみ希望します。
- (2) 第一種奨学金を希望するが、不採用の場合第二種奨学金を希望します。
- (3) 第二種奨学金のみ希望します。

(b). 併用貸与を希望する人のみ記入してください。

- (4) 第一種奨学金及び第二種奨学金との併用貸与のみを希望します。
- (5) 併用貸与を希望するが、不採用の場合第一種奨学金のみ希望します。
- (6) 併用貸与不採用及び第一種奨学金不採用の場合、第二種奨学金を希望します。
- (7) 併用貸与不採用の場合、第二種奨学金のみ希望します。

下表をよく確認し、希望する1つを選択してください。

●奨学金申込情報

スカラネット C-奨学金申込情報の表示	解説
(1)第一種奨学金のみ希望します。	第1希望：第一種 第一種奨学金が不採用となっても第二種奨学金は希望しない。
(2)第一種奨学金を希望するが、不採用の場合第二種奨学金を希望します。	第1希望：第一種 第2希望：第二種 第一種奨学金が不採用となった場合は、第二種奨学金を希望する。
(3)第二種奨学金のみ希望します。	第1希望：第二種 第一種奨学金の基準に該当しない。又は第一種奨学金を希望しない。
(4)第一種奨学金及び第二種奨学金との併用貸与のみを希望します。	第1希望：第一種と第二種（併用） 第一種奨学金と第二種奨学金を両方同時に貸与が受けられなければ、奨学金を希望しない（どちらか一方のみの貸与は希望しない）。
(5)併用貸与を希望するが、不採用の場合第一種奨学金のみ希望します。	第1希望：第一種と第二種（併用） 第2希望：第一種 第一種奨学金と第二種奨学金を両方同時に貸与が受けられなければ、第一種奨学金を希望する（第二種奨学金のみの貸与は希望しない）。
(6)併用貸与不採用及び第一種奨学金不採用の場合、第二種奨学金を希望します。	第1希望：第一種と第二種（併用） 第2希望：第一種 第3希望：第二種 第一種奨学金と第二種奨学金を両方同時に貸与が受けられなければ、第一種奨学金を希望するが、不採用の場合は、第二種奨学金を希望する。
(7)併用貸与不採用の場合、第二種奨学金のみ希望します。	第1希望：第一種と第二種（併用） 第2希望：第二種 第一種奨学金と第二種奨学金を両方同時に貸与が受けられなければ、第二種奨学金を希望する（第一種奨学金のみの貸与は希望しない）。

(注1) 併用貸与とは、第一種奨学金と第二種奨学金を両方同時に貸与を受けることです(奨学金案内5ページ「2」(1)貸与奨学金の種類参照)。

(注2)(5)～(7)を希望する人は、併用貸与が不採用になった場合を想定して第2希望以下の奨学金の月額を選択してください。進学届提出時または採用後、貸与月額を減額することができます。

D-あなたの入学（予定）先情報・在学情報

1. 入学（予定）先大学院

- (1) あなたの入学（予定）先大学院名を確認してください。 (1) ×× 大学大学院
 (2) あなたの入学（予定）先課程を選択してください。 (2)
 (3) あなたの入学（予定）先研究科を選択してください。 (3)

法科大学院の人は
 (2) あなたは法科大学院の課程に入学を予定していますね。
 ○はい ○いいえと表示されます。

(2) (3) はプルダウンに表示された中から選択してください。

- (4) あなたの入学（予定）先研究科の専攻のコードを記入してください。 (4)
 (注) 専攻のコードについては入学（予定）先の学校へ確認の後記入してください。
 (5) 年次を記入してください。 (5) 年次

大学院からの指示がない場合は未記入でかまいません。

- (6) 入学（予定）先昼夜課程を選択してください。 (6) 昼（昼夜開講含む） 夜 通信
 (7) あなたの入学予定年月を記入してください。
 (7) 西暦（半角数字4桁） 年 月 入学予定
 (8) あなたの修了（見込）予定年月を記入してください。
 (8) 西暦（半角数字4桁） 年 月 修了（見込） 予定

(6) 通常は「昼（昼夜開講含む）」又は「夜」を選択します。

- (9) あなたの修業年限を記入してください。 (9) (半角数字) 年 カ月

修了（見込）予定年月は下表をもとに入力してください。
 なお、長期履修課程への進学予定者も、必ず通常課程の修了（見込）予定年月を入力してください（長期履修については「奨学金案内」9ページを参照してください）。

修業年限とは…
 あなたの進学予定の課程が何年課程のものかという意味です。
 なお、長期履修課程の入学予定者も、必ず通常課程の標準修業年限を入力してください。

	年	月	修了予定年月の記入例
修士・博士前期課程 専門職大学院課程(法科大学院を除く)	1年制	1 0	2025 年 3月
	2年制	2 0	2026 年 3月
	3年制	3 0	2027 年 3月
博士後期課程	3年制	3 0	2027 年 3月
博士(医歯薬獣医学)課程	4年制	4 0	2028 年 3月
一貫制博士課程	5年制	5 0	2029 年 3月
法科大学院	2年制	2 0	2026 年 3月
	3年制	3 0	2027 年 3月

2. 在学している（在学していた）学校

- (1) あなたが在学している（在学していた）課程を選択してください。 (1) 大学等 大学院
 (2) あなたが在学している（在学していた）学校名の読みの先頭1文字を選択してください。 (2)
 (3) あなたが在学している（在学していた）学校名を選択してください。 (3)
 (4) あなたの現在の学籍（学生証）番号を記入してください。 (4) (半角英数字記号)
 (5) あなたが在学している（在学していた）学部（科）・研究科を選択してください。 (5)

E-奨学金貸与額情報

1. 第一種奨学金を希望する人は次のことに答えてください。

(1) あなたの希望する月額を1つ選択してください。

「C-奨学金申込情報」及び「D-あなたの在学情報」の項目をすべて入力してください。入力終了後、月額が表示されます。

修士課程	5万円	8万8千円
博士課程	8万円	12万2千円

(1) ▼

プルダウンリストから希望する月額を選択してください（貸与月額は「奨学金案内」5ページを参照してください）。スカラネット入力時は、あなたの情報から判定された月額が表示されます。

(2) あなたの希望する返還方式を選択してください。

（注）所得連動返還方式を希望する場合、保証制度は「機関保証」になります。

(2) 所得連動返還方式 定額返還方式

第一種奨学金を希望する人は、返還方式を選択できます。「奨学金案内」11～13ページを確認のうえ、どちらかを選択してください。

【第一種奨学金の返還方式】下記の説明をよく読み、返還方式を選択してください。

	所得連動返還方式	定額返還方式
返還額の算出	採用時に提出したマイナンバーより毎年情報連携で取得した前年の所得に応じて毎月の返還額が決まります。所得の変動に応じて毎月の返還額が変動し、返還期間も変動します。 ※詳細は「奨学金案内」12ページを参照	貸与総額に応じて月々の返還額が算出され、返還完了まで定額で返還する制度です。
保証制度	必ず「機関保証」となります。	機関保証制度又は人的保証制度のいずれかを選択します。

(3) 第一種奨学金の再貸与を希望しますか。

「はい」と答えた人はこれまでに今回申込と同一学種・同一課程で貸与を受けた

第一種奨学金の奨学生番号を記入してください。 奨学生番号 ▼
(半角数字)

(3) はい いいえ

過去に大学院の同じ課程の区分で第一種奨学金を受けたことがある人は「はい」を選択してください。なお、採用取消となったもののみの場合は「いいえ」を選択してください。

第一種奨学金の再貸与を希望する人は、再貸与の制度を確認し、同意する場合のみ、申込を行ってください。

（注）制度等を確認するまで、次の画面に進むことはできません。

同意します

E-奨学金貸与額情報1. (3)で「はい」と答えた人に表示されます。

第一種奨学金の再貸与制度とは？

過去に第一種奨学金の貸与を受けた人が、同じ学校区分（下表【大学院の課程の区分】参照）で再度新たに第一種奨学金の貸与を受けることができる制度です。「奨学金案内」9ページも参照してください。

（注）過去に大学院で第一種奨学金の貸与を受けたことがない人や、修士・博士前期課程にて第一種奨学金の貸与を受けていた人が博士後期課程にて第一種奨学金を希望する場合は、第一種奨学金の再貸与制度には該当しません。

【大学院の課程の区分】

区分	左の区分に含まれる課程等
修士課程相当	修士課程、博士前期課程、専門職大学院課程（法科大学院を含む）、一貫制博士課程前期相当分
博士課程相当	博士課程、博士後期課程、博士医・歯・薬・獣医学課程※、一貫制博士課程後期相当分 ※6年制薬学部基礎を置く薬学系大学院博士課程（4年制）については、博士医・歯・薬・獣医学課程として取扱います。

【用紙①】スカラネット入力下書き用紙（大学院予約）

2. 第二種奨学金を希望する人は次のことに答えてください。

(1) あなたの希望する月額を1つ選択してください。

(1)

5万円 8万円 10万円 13万円 15万円

法科大学院の人は
(1)で15万円を選択すると、
(2)15万円の月額を選択した人の
み増額貸与を希望することができます。あなたは増額貸与を希望し
ますか。
(2)○4万円 ○7万円
○希望しない
(3)あなたは何月分から貸与を希
望しますか。
と表示されます。

※貸与月額について確認してください。

あなたは、併用貸与を希望しています。併用貸与を受けると貸与総額及び毎月の返還額が多額となります。
この申込手続終了後、貸与月額が適切であるか再度確認してください。

なお、第二種奨学金の最高月額を選択した場合は、**10ページ K-「家庭事情情報」**欄に第二種奨学金の
最高月額を必要とする「理由」をご記入いただくこととなります。

ご記入いただいた「理由」については、学校担当者から確認等を行う場合があります。

はい いいえ

併用貸与を希望した人に表示され
ます。併用貸与については「奨学金
案内」5ページを参照してください。

併用貸与を希望し、第二種奨学
金で最高月額を選択した人に表
示されます。

**併用貸与を希望した人は、貸与
月額が適切であることを確認後、
「はい」を選択してください。**

(2) あなたは何月分から貸与を希望しますか。

(注) 奨学生採用後は貸与始期の変更はできません。

(2) 西暦（半角数字4桁） 年 月

貸与始期は2024年4月となります。

3. 入学時特別増額貸与奨学金を希望する人のみ答えてください。

(1) あなたは入学時特別増額貸与奨学金を希望しますか。

1年次に入学した人および編入学の人のみ希望することができます。

(1) はい いいえ

(2) 「はい」と答えた人は、希望する額を選択してください。

(2) 10万円 20万円 30万円 40万円 50万円

入学時特別増額貸与奨学金の貸
与を受けるためには、原則とし
て進学前に日本政策金融公庫の
「国の教育ローン」の申込みを行
う必要がある場合があります。
「奨学金案内」8ページ及び27～
28ページを参照してください。

4. 第二種奨学金または入学時特別増額貸与奨学金を希望する人は答えてください。

(1) あなたの希望する利率の算定方法を選択してください。

(1) 利率固定方式 利率見直し方式

返還時の利率の算定方法を選択
する項目です。詳しくは「奨学
金案内」9ページを参照してくだ
さい。

3/7

F-あなたの個人情報

1. あなたのお名前は △△ ○○ さんですね。

2. あなたの性別を選択してください（任意）。

2.

3. あなたの生年月日は○年△月□日ですね。

4. あなたの電話番号を記入してください。

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番
号で構いません。

4. - - 半角数字

携帯電話の電話番号を記入してください。

(携帯) - - 半角数字

固定電話と携帯電話を両方所有
している場合はどちらも入力し
てください。

5/7

I-あなたの所得情報

1. あなたの収入について該当する項目を記入してください。

(1) 定職・アルバイトについて該当する項目を記入してください。

	勤務先 (全角)	職業 (全角)	収入金額 (年額・税込)		就労時間 (半角数字) 本年見込
			前年 (半角数字)	本年見込 (半角数字)	
定職	1. <input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円	
	2. <input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円	
アルバイト	1. <input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 時間
	2. <input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 時間
	3. <input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 時間
父母等からの給付額 (年額・税込)			<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円	
奨学金 (現在申込中のみは除く) (年額・税込)			<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円	
その他の収入 (内容) (全角20文字以内)			<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円	

(2) 定職又は週21時間以上のアルバイトに従事している人のみ記入してください。

(a) 退職・休職もしくはアルバイトの週当たり就労時間を21時間未満に減少する意思がありますか。

(a) あります ありません

(b) 「あります」と答えた人はその予定時期を記入してください。

(b) 西暦 (半角数字4桁) 年 月 日

(3) 配偶者のいる人はその氏名及び年齢を記入してください。

(3) 氏名 姓 名
年齢 歳

(4) 配偶者の収入状況 (定職収入のみ) を記入してください。

	勤務先 (全角)	職業 (全角)	収入金額 (年額・税込)	
			前年 (半角数字)	本年見込 (半角数字)
給与所得の場合	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円
給与所得以外の場合	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円

2. あなたの特記情報について記入してください。

災害・震災に被災したことがある人で、被災した災害・震災が選択肢の中に含まれている場合は該当のものを選択してください。

▼

I-あなたの所得情報 については、「奨学金案内」22～25ページを参照のうえ入力してください。
○ここでの「前年」とは「2022年」を、「本年」とは「2023年」を指します。
2024年1月以降に申し込む場合も「前年」は「2022年」、「本年」は「2023年」となります。

(1) 前年の収入を入力してください。ただし、前年に対して本年の収入が変動する場合に限り、前年の収入に加えて本年見込の収入金額も入力してください。

○前年の収入金額と本年見込の収入金額とで変動がある場合は、本年見込の収入金額で選考します。

預貯金の取崩し等が該当します。

給与所得の場合は、源泉徴収票の「支払金額」を入力してください。

給与所得以外の場合は、確定申告書の「所得金額」を入力してください。
(例) 商店経営や農業等

この項目は選択不要です (大学院の奨学金は災害に係る控除はありません)。

J-あなたの研究情報

1. あなたの研究題目（研究分野）を記入してください。（全角50文字以内）（25×2）

Grid for research title entry

2. あなたの大学院進学目的と研究計画を記入してください。（全角400文字以内）（25×16）

Large grid for research purpose and plan entry

3. あなたのこれまでの研究内容（提出論文・紀要・学術雑誌等の発表論文等）について記入してください。

ただし、修士・博士前期課程1年および博士医・歯・薬・獣医学課程1年は記入の必要がありません。

（全角400文字以内）（25×16）

Large grid for past research content entry

K-家庭事情情報

1. 奨学金を希望するに至った家庭事情や、特に説明を要することを記入してください。

（全角200文字以内）（25×8）

Grid for family situation information entry

J-あなたの研究情報
本項目に半角英数字や半角カナ文字は使用できません。数式・記号を含め全角文字で入力してください。

「研究題目」が未定の場合、手がけてみたいと考えている専門分野を大別し、その概要を入力してください。

博士・博士後期課程の入学予定者のみ記入する必要があります。

専門職大学院（法科大学院を含む）の1年の人も入力不要です。

家庭事情情報は、全員入力する必要があります。半角英数字や半角カナ文字は使用できません。

併用貸与を希望し、第二種奨学金の最高月額を選択した場合は、最高月額を必要とする「理由」も入力してください。

注意！口座情報に誤りがあると、奨学金の初回振込みが大幅に遅れることがあります。

奨学金を継続して受けるためには、スカラネット・パーソナルへの登録が必要であり、登録には振込口座情報が必要です。通帳などのコピーを本紙12ページに貼付しておくことをおすすめします。

チェック	奨学金振込口座は、下記6点の確認が必要です！
① <input type="checkbox"/>	あなた本人の預・貯金口座ですか（あなた本人以外の口座は使用できません）。
② <input type="checkbox"/>	銀行等の普通預金又は、ゆうちょ銀行の通常貯金口座ですか。
③ <input type="checkbox"/>	誓約欄のカナ氏名と通帳などの口座名義人（カナ）が同じですか。
④ <input type="checkbox"/>	金融機関名及び口座番号と支店名（ゆうちょ銀行以外の場合）、又は記号と番号（ゆうちょ銀行の場合）は正しいですか。※1
⑤ <input type="checkbox"/>	この通帳は、1年以内に記帳できましたか（休眠口座になっていませんか）。
⑥ <input type="checkbox"/>	信託銀行、農協、外資系銀行、SBI新生銀行、あおぞら銀行、ネットバンク、コンビニ銀行等は、振込みできません。※2

※1 3か月以内に新設の支店は選択できない場合があります。

※2 一部の信用組合は、振込みできません。

7/7
L-奨学金振込口座情報

1. 奨学金を振り込む金融機関を選択してください。 1. 銀行等 ゆうちょ銀行

【銀行等を選択した場合】
金融機関名および支店名を選択してください。

(1) 金融機関名の読みの先頭1文字を選択してください。 (1)

1 (2) 金融機関名を選択してください。 (2)

(3) 支店名の読みの先頭1文字を選択してください。 (3)

2 (4) 支店名を選択してください。 (4)

2. 預金通帳等で確認後、口座番号を入力してください。

3 2. 普通（総合）口座

確認のため、再度口座番号を入力してください。 確認用

3. 口座名義人を入力してください。 半角数字

(口座名義人は本人に限ります)

4 姓 名

3. 口座名義人（全角カナ）

【ゆうちょ銀行を選択した場合】

2. 貯金通帳等で確認後、口座の記号-番号を入力してください。

1 記号

2 番号

2. 記号-番号

確認のため、再度口座の記号-番号を入力してください。

確認用

3. 口座名義人を入力してください。 半角数字

(口座名義人は本人に限ります)

3 姓 名

3. 口座名義人（全角カナ）

番号が7桁に満たない場合は、そのままの桁数で入力してください。

口座名義人欄の入力について(③ページB-誓約欄で入力したカナ氏名と同一である必要があります)
※姓と名でそれぞれ15文字まで入力できます。
※姓が15文字以上ある人は、15文字まで姓に入力し、16文字以降は名に入力してください。
※ミドルネームがある人は、名の欄に『ミドルネーム』をスペースなして入力してください。

「記号」と「番号」の間に数字がある場合は、その数字は入力しないでください。
※番号が8桁に満たない場合は、そのままの桁数で入力してください。

4 **普通預金** **銀行等**

キヨウ 900

お取引の通帳残高は次のとおりです。

株式会社 銀行 **1**

口座名 支店 **2**

TEL.

ご入金残高 のご入金先

お振込入金

ゆうちょ銀行

記号 **1** 番号 **2**

1 **2**

お名入れ **キヨウ 900** 種 **3**

株式会社ゆうちょ銀行 (金融機関コード: 9900)

通帳とお取引印は、別々に保管してください。 通帳作成地: 東京都千代田区千代田1-2-2 株式会社ゆうちょ銀行

この番号では振込みできません

この口座を他金融機関からの振込みの受取口座として利用される際は次の内容をご指定ください
【店名】一九八(読み イヂキユウハチ)
【店番】198 【預金種目】普通預金 【口座番号】0123456

記入内容を点検しましょう！

- 氏名は本名で記入しましたか？
- 電話番号を間違いなく正確に記入しましたか？
- 収入金額について、該当する欄に該当する数字を記入できていますか？
- 口座番号を正確に記入しましたか？（誤りがあると振込みできません）



重要

入力完了後に表示される受付番号を「1」ページ及び「奨学金案内」裏表紙のおぼえ書きに記入してください。

貼付【通帳などの口座名義人及び口座情報が記載されている部分のコピー】

※しっかりと貼り付け、はがれ落ちないようにしてください。

収入計算書〔前年（2022年1月～12月）用〕

私は、日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、前年の収入に関する状況は以下のとおりであることを報告します。また、この収入計算書に基づき奨学金の申込み（「スカラネット」への入力）を行うとともに収入にかかる証明書を裏面に貼付（父母等からの給付額がある場合は裏面に記載）いたします。

○進学予定学校名 _____ 大学 _____ 研究科 _____

○進学予定課程（該当の数字に○）：

1. 修士・博士前期課程／専門職大学院課程（法科大学院を除く）
2. 博士後期課程
3. 博士医・歯・薬（4年制）・獣医学課程
4. 法科大学院

○申込者氏名 _____

〔各項目1万円未満切捨て〕

前年(2022年1月～12月)の 収入額		
	収入項目	収入額 (A)
定職 (○)	定職 (本人)	(年額) _____ 万円
	定職 (配偶者) 〔該当者のみ〕	(年額) _____ 万円
アルバイト (○)	アルバイト 1	(年額) _____ 万円
	アルバイト 2	(年額) _____ 万円
	アルバイト 3	(年額) _____ 万円
	父母等からの給付額 (★)	(年額) _____ 万円
	奨学金	(年額) _____ 万円
	・その他の収入(利子・配当・不動産・ 年金等の公的手当・預貯金の取崩し等)	(年額) _____ 万円
	収入額合計 (※)	(年額) _____ 万円

〔記入時の注意事項〕

◎複数あるために欄が不足する場合は、合計額を記入（アルバイトは1・2に記入後、3に残りをまとめて記入）。ただし、証明書類は全て提出してください。

★計上する場合、前年用裏面に月別内訳を可能な限り記入してください。また、父母等給付者の自署が必要です。

〔重要〕

収入額合計は、0万円とならないよう記入してください。

※2024年1月～2月に申し込む場合でも「前年」は2022年となります。

〔収入欄に記入した収入証明書を裏面に貼付〕

**本年見込用
(表)**
変動ある場合のみ

本用紙は、「A3 サイズ 1 枚」により構成されています。前年（左面）の収入と本年（右面）の収入に変動がない場合、「本年」の記入は不要です。

収入計算書[本年見込（2023年1月～12月）用]

私は、日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、本年の収入に関する状況は以下のとおりであることを報告します。また、この収入計算書に基づき奨学金の申込み（「スカラネット」への入力）を行うとともに収入にかかる証明書（但し前年の収入から変動のある証明書のみ）を裏面に貼付（父母等からの給付額がある場合は裏面に記載）いたします。

【収入の状況】（以下の該当する方に、「○」を付けてください。）

	本年見込の収入については、前年の収入金額に対して、 <u>変動はありません</u> 。	➡	このページは記入不要。
	本年見込の収入については、前年の収入金額に対して、 <u>変動します</u> ので、以下のとおり報告します。	➡	両ページの各項目を全て記入（前年と変動のない同じ項目は、前年と同じ金額を記入）。

【各項目 1 万円未満切捨て】

本年(2023年1月～12月)の収入見込額		
	収入項目	収入額 (B)
定職 (○)	定職 (本人)	(年額) 万円
	定職 (配偶者) [該当者のみ]	(年額) 万円
アルバイト (○)	アルバイト 1	(年額) 万円
	アルバイト 2	(年額) 万円
	アルバイト 3	(年額) 万円
	父母等からの給付額 (★)	(年額) 万円
	奨学金 (申込中の奨学金は除く)	(年額) 万円
	・その他の収入(利子・配当・不動産・年金等の公的手当・預貯金の取崩し等)	(年額) 万円
	収入見込額 合計 (※)	(年額) 万円

「変動」とは、別の勤務先が変わったり、アルバイトの数が変更になった場合を指します。収入の若干のゆらぎについては変動に含みません。

【記入時の注意事項】
◎複数あるために欄が不足する場合は、合計額を記入（アルバイトは 1・2 に記入後、3 に残りをまとめて記入）。ただし、証明書類は全て提出してください。

★計上する場合、本年見込用裏面に月別内訳を可能な限り記入してください。また、父母等給付者の自署が必要です。

【重要】
収入額合計は、0万円とならないよう記入してください。

 本年收入見込額を「0円」とすると、前年の収入額合計で審査されます。

※2024年1月～2月に申し込む場合でも「本年」は2023年となります。

【前年の収入から変動のある証明書のみ裏面に貼付】

本年見込の収入について、前年と変動がない場合、この面の記入は必要ありません。

本年見込用
(裏)

証明書類貼付欄

〔前年の収入から変動がある証明書のみ貼付〕

- ・証明書類は、この欄に本紙と上下の向きをそろえて、ホチキスで上部 2 点を留めてください。
- ・収入年額の推算が必要な場合は、下部スペースに計算式を記入し、推算した年額を表面記入欄に記入してください。

学校指定の様式がある場合は、そちらに貼付してください。

その場合、本用紙への貼付は不要です。

書類の提出方法については、学校の指示に従ってください。

★父母等からの給付額について（給付者が記入してください）

表面の申込者本人が日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、当該者本人への給付額については、以下のとおりであることに相違ありません。

○給付者（父母等）氏名【自署】 _____ ○申込者との関係（続柄） _____

(2023年)

1月	円	7月	円
2月		8月	
3月		9月	
4月		10月	
5月		11月	
6月		12月	
		合計	円

スカラネット入力用合計金額 万円

スカラネット入力時の単位は「万円」です（1万円未満切捨て）。

例：合計額 309,700円 ⇒ スカラネット入力用合計金額 30万円

※ 月別に記入できない場合は、年額のみを合計欄に記入してください。

前年用（裏）

証明書類貼付欄 [収入に関する証明書のみ貼付]

・証明書類は、この欄に本紙と上下の向きをそろえて、ホチキスで上部2点を留めてください。

学校指定の様式がある場合は、そちらに貼付してください。
 その場合、本用紙への貼付は不要です。
 書類の提出方法については、学校の指示に従ってください。

★父母等からの給付額について（給付者が記入してください）

表面の申込者本人が日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、当該者本人への給付額については、以下のとおりであることに相違ありません。

○給付者（父母等）氏名【自署】 _____ ○申込者との関係（続柄） _____

(2022年)

1月	円	7月	円
2月		8月	
3月		9月	
4月		10月	
5月		11月	
6月		12月	
		合計	円

↓

スカラネット入力用合計金額	万円
----------------------	----

スカラネット入力時の単位は「万円」です（1万円未満切捨て）。

例：合計額 309,700円 ⇒ スカラネット入力用合計金額 30万円

※ 月別に記入できない場合は、年額のみを合計欄に記入してください。